

第三次大分県特別支援教育推進計画

安全で適切な環境、合理的配慮提供の徹底など、子ども達が安心して学べるように、環境を整えます。



〔基本方針〕

障がいのある子どもの自立と社会参加に向け、一人一人の教育的ニーズに応える物的・質的環境を整え、インクルーシブ教育システムの構築をめざします！

『特別支援教育』は教員に必要な資質の一つです。



障がいのある子どもの学ぶ権利を保障する教育環境の整備

特別支援教育の充実に向けた教職員の専門性の向上

幼稚園、小・中学校等、高等学校

- 地域の実情に応じた特別支援学級・通級による指導の教室の在り方を検討します。
- 管理職の意識向上のための研修を実施します。
- 公立高等学校の合理的配慮の提供が徹底するよう、また、特別支援教育支援員の配置の促進などに取り組みます。

特別支援学校

【盲学校・聾学校】

- ◇ 同一敷地での別運営を実施
- ◇ 最新の設備を備えた学校へ

【別府支援学校3校】

- ◇ 本校を廃止し、鶴見校(肢体不自由)・石垣原校(病弱)を本校に
- ◇ 医療療育機関併設の利点を活用

【学校の新設】

- 大分市内に
- ◇ 知的障がい特別支援学校を新設
- ◇ 高等特別支援学校を新設

【南石垣支援学校】

- ◇ 校舎建て替え
- ◇ 十分な広さのある運動場、体育館

特別支援教育のネットワーク

- ケースに応じた専門的な相談支援ができるための、福祉や保健との協働による「チーム支援体制」づくりを行います。

全ての教職員を対象とした研修

- 全ての幼稚園、小・中学校等、高等学校の特別支援教育コーディネーターへの研修を実施します。
- 大分大学附属特別支援学校における体験的研修を実施し、より実践的な内容の修得をめざします。
- 必要な情報を、ほしいときに学ぶことができるような情報ネットワークを構築します。

多様な障がいへの対応

- PT(理学療法士)やOT(作業療法士)など専門性の高い外部人材との連携により対応の強化をめざします。
- 専門性を担保するため、特別支援学校教諭免許状保有率の向上をめざします。
【特別支援学校】 原則、在勤2年以内に取得
【小・中学校等】 市町村教育委員会と連携した取組の検討
- 医師や摂食指導の専門家との連携により、特別支援学校における「個別の指導計画」の充実と活用をさらに促進します。
- 新しい学習指導要領に基づいた教育課程の改善など、カリキュラム・マネジメントに取り組みます。

子ども達の現在、そして将来がより豊かなものになるよう、子ども達の夢をかなえる教育をめざします。



※第三次大分県特別支援教育推進計画の主なものを掲載しています。詳しくは、本文をお読みください。